

68歳映画監督、ある日突然家が焼けた。
わずかに生き残った8ミリフィルムに刻まれた家族の歴史。
そして、再生の物語。



焼け跡 クロニクル

監督・撮影・編集：原まおり 原將人

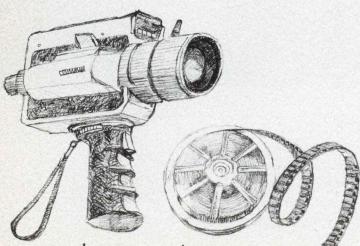
出演：原將人 原まみや 原からん 原鼓卯 原まおり 佐藤真理子

製作：原正孝 プロデューサー：有吉司 音楽：原將人 タイトル音楽：原まみや エンディング編曲・演奏：遠藤晶美

整音協力：弦巻裕 カラーグレーディング：上野芳弘 題字：赤松陽構造 技術：アシスト

協賛：ヨコシネディーアイエー 後援：京都市 配給・宣伝：マジックアワー

2022年／日本／84分／5.1ch／16:9／カラー ©2022『焼け跡クロニクル』プロジェクト



www.yakeato-movie.com



もし自分の家が火事になって、全てを失くしてしまったら——？

これはそんな体験をした映画監督一家が、ゼロから再び立ち上がるまでの日々を自ら記録した、かつてないドキュメンタリー。2018年7月、昔ながらの町家が残る京都西陣。路地奥にあった映画監督・原將人の自宅が不慮の火事で全焼した。幸い家族5人は無事だったものの、すべての家財道具と保管していた映画フィルム機材を焼失してしまう。やけどを負って入院した夫を安心させようと、妻はとっさに家族の様子をスマートフォンで記録した。今夜寝る場所は？ 着る服や靴は？ 火災保険は？ 明日からの仕事や学校は？ 唾然とした夜が明けて、嵐のような日々がはじまった——



あの日 あの時の、なんでもない日常の記憶が、生きる力になってゆく。
包み込まれるような優しさと懐かしさに満ちた、ある再生の物語

監督は、第1回フランクフルト国際映画祭観客賞受賞作『MI・TA・RI!』広末涼子映画デビュー作『20世紀ノスタルジア』等、個人映画の旗手として海外からも注目される原將人と、公私ともにパートナーである原まおり。生き残った8ミリフィルムに写っていた記憶が、過去と現在、未来をつなぎ、家族の歴史を紡いでいく。喪失と痛みの物語でありながら、包み込まれるような優しさと懐かしさに満ちた、驚きの傑作が誕生した。



原將人は転んでもただでは起きない。ドキュメンタリー作家の業が生み出したとも云うべきこのユニークな作品が劇場で公開されることを、彼の昔からのファンとして切実に願ってやまない。

—山田洋次(映画監督)

焼け跡クロニクル

監督・撮影・編集：原まおり 原將人
2022年／日本／84分／カラー／16:9／5.1ch ©2022『焼け跡クロニクル』プロジェクト
配給・宣伝：マジックアワー yakeato-movie.com [Facebook](#) [Twitter](#) [Instagram](#) @yakeatomovie



横浜シネマリン

上映開始 '22.4.16 ~

045-341-3180